

高齢者インフルエンザ予防接種 説明書



1. 季節性のインフルエンザと予防接種の効果

ふつうの風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのが特徴です。65歳以上の高齢者や慢性疾患患者で死亡率が高くなるという点でも、ふつうの風邪とは違います。インフルエンザ予防接種の有効性は世界的にも認められ、高齢者の発病防止や重症化防止に有効であり、死亡率も低下すると言われています。

2. 制度概要

接種対象者	<u>接種日現在、茅ヶ崎市に住民登録があり、次のいずれかに該当する方</u> (1) 65歳以上 (2) 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいのある方（身体障害者手帳1級相当）
接種期間	令和7年10月1日（水）から令和8年1月31日（土）まで ※医療機関の休診日は除く ※インフルエンザワクチンの効果が現れるまでに2週間程度かかり、その後、約5か月間効果が維持されるので、インフルエンザが流行する前の12月中旬までに接種を受けることが望ましいとされています。毎年1回受けることが予防には有効です。
接種回数	実施期間中に1回
接種費用	自己負担金額 2,000円 ※対象者のうち、生活保護世帯の方は費用が免除となります。「生活保護受給票（休日・夜間受診票）」と併せて住民登録地の確認できるもの（マイナンバーカード・住民票等）を実施医療機関にご提示ください。
接種を受けることができない方	1. 体温が37.5℃以上の方 2. 重篤な急性疾患にかかっている方 3. ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方 4. 以前にインフルエンザの予防接種で、接種後2日以内に発熱したことがある方 5. その他、医師に不適当な状態と判断された方



高齢者インフルエンザ予防接種 説明書

3. 予防接種後の副反応

高齢者インフルエンザ予防接種の主な副反応として、注射の跡が赤くなる・はれる・痛む・熱が出る・寒気・頭痛・だるい等がありますが、通常2～3日のうちに治ります。その他、接種直後まれに、発汗・じんましん・吐き気・呼吸困難がおきることがあります。

4. その他の注意事項

以下の説明を理解し、インフルエンザ予防接種を希望する方は、予診票に記入のうえ接種を受けてください。

✓	予防接種を受けることは義務ではなく、ご本人が接種を希望する場合のみに行うものです。
✓	予防接種について分からないことがある場合には、予防接種を受ける前に医師や看護師に質問し、納得をしたうえで接種を受けましょう。
✓	医師の診察の結果によっては、予防接種が受けられない場合があります。
✓	インフルエンザ予防接種を希望する方で、本人が署名できない場合、代理人（家族）が被接種者署名、代筆者氏名及び被接種者との続柄の3か所を記入してください。
✓	接種後30分は急な副反応が現れることがあるので、医師とすぐに連絡が取れるようにしましょう。
✓	インフルエンザワクチンの副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
✓	予防接種を受けた日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
✓	接種当日はいつもの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
✓	異常があった場合は、早めに医師の診察を受けてください。
✓	本剤の接種により健康被害が発生した場合には、国により予防接種健康被害救済制度が設けられています。